

南予生物(2013) Vol.17

目 次

<本論文>

- 愛媛県の潮間帯から得られたハゼ科魚類……………辻 幸一 1
愛媛県瀬戸内海域より初記録の魚類……………清水孝昭 14
鹿野川ダム湖で採集されたタモロコ属魚類の形態……………高橋弘明 36

<短 報>

- 愛媛県八幡浜市で撮影されたニホンジカ……………松田久司・岩田功次 41
南予北部における2004年から2011年の化学的酸素要求量調査……………岩田功次・松田久司 44
大洲市平野町野田におけるヘイケボタルの幼虫と成虫の観察記録……………松田久司・黒田慧史 53
宇和海におけるマダラ(タラ目タラ科)の迷入……………清水孝昭 57

<会員通信>

- 乾燥に対してクマムシがもつ耐性要因に関する研究—第8回高校生科学技術チャレンジ
(JSEC) 最終審査作品—
……………沖井優一・清水紀之・武智啓太・谷脇康洋・藤田和樹・中川和倫 59
極限環境微生物をテーマとした課題研究の指導を通して……………中川和倫 70
変形菌という生物……………小野榮子 77
第三次伯方島生物総合調査の意義……………辻 幸一 85
山口大学教育学部棟の傍らでみられるささやかな冬の風物詩—ヒメクダマキモドキと
アオマツムシについて—……………佐伯英人 89
喜界島・奄美大島の旅—アサギマダラの聖地と探鳥の旅—……………橋越清一 91

<その他>

- 図書INFORMATION……………102
編集後記・受贈文献・事務局より・投稿のお願い……………103
南予生物研究会会則……………107